

健康福祉サービス第三者評価結果 公表 共通様式

1 事業者情報

福祉サービスの種別	保育所
事業所名	守山市立吉身保育園（本園・分園）
代表者氏名（管理者）	園長 大西 美幸
法人名	社会福祉法人 洛和福祉会
定員（利用人数）	本園 150名 分園 25名
施設・事業所所在地	本園 守山市吉身二丁目6番61号 分園 守山市吉身三丁目2番26号
T E L	本園 077-582-4477 分園 077-583-3667
F A X	本園 077-582-4477 分園 077-583-3667
電子メール	yoshimi_enchou@rakuwa.or.jp
ホームページアドレス	https://www.rakuwa.or.jp/hoiku/yoshimi.html

2 第三者評価機関

第三者評価機関名	一般社団法人 滋賀県介護福祉士会
評価実施期間	令和6年1月11日・1月12日

3 評価の概要

○ 総合評価

守山市立吉身保育園は、JR守山駅や市役所に近く医療機関や多様な公共施設が揃い、生活しやすい市の中心部に位置する公設民営の保育園です。京阪神地区へのアクセスも良く、近年はマンション建設も増え、子育て世代を中心とした人口流入に伴う乳幼児保育のニーズが増加している地域です。

吉身保育園では、「乳幼児期は人間形成にとって極めて重要な時期である。保育園は、児童福祉法や児童憲章・児童の権利条約等に示された保育の基本理念の基づき、子ども一人一人の最善の利益を図り、豊かな人間性を持った『ひと』としての育成を目指し、子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来を創り出す力の基礎を培う。」を保育理念として掲げ、保育目標や保育方針に則った保育の充実に努めている保育園です。

0歳～2歳児保育は『育児担当保育』を取り入れ、「一人の一人を大切にする保育」を心がけ、子どもたちが安心して過ごせる環境を整えています。また、3歳～5歳児は『たてわり保育』を基本として、様々な異年齢の人と触れ合うなかで豊かな心を育み、人として生きる力を身につける保育に取り組んでいます。

○ 特に評価の高い点

1. 子どもの人権・権利を尊重した保育

守山市立吉身保育園では、【吉身保育園人権ガイドライン】を制定し、「子どもの権利を保育に生かそう」を目標として、子どもを“意志と感情をもった一人の人間”として尊重した人権保育に取り組んでいます。また、「人権教育全体計画」を定め、職員の人権保育への意識づけを促しています。

○子どもと目線を合わせてから話をする。○体罰（叩く・蹴る・押す・閉じ込める）はしない。○子どもの情緒を安定させることを大切に考えて保育する。○子どもを呼び捨てにしない。○自分にしてほしいことは子どもにしない等々、（育児・生活面）（排泄）（睡眠）（遊び）などの保育においては基本的なことです。この当たり前の保育のポイントを詳細に記載して、保育士への人権意識を周知・徹底しています。更に、「人権ってなあに」や「ゆたかななかま」などのお便りを保護者へ配り、子どもの人権の大切さを理解してもらうよう努めています。

2. 職員の働き易さへの取り組み

運営母体である洛和福祉会は、法人として職員の「年間研修計画」を作成し、職員のスキルアップを支援しています。充実した新人研修や階層別のフォローアップ研修なども整っています。また「期待する職員像」を明確に示しています。職員の評価に関しては個別

面談を実施し、自己評価も行っています。処遇改善に関しても法人内で詳細な基準が定められており、職員が将来の自分の姿を描くことができるような仕組みがあります。

園長自らが労務管理を行い、職員の有給消化に関しては積極的な取得を促しています。法人の福利厚生として「リクラブ」があり、メンタルヘルスの相談窓口や福利厚生クラブ・慶弔金・映画観賞券の割安な斡旋など、充実した福利サービスが整っています。ワーク・ライフ・バランスに配慮し、「ワーク・ライフ・バランス休暇制度」や「リフレッシュ休暇（10日間）」があり、4週8休以外の休暇を取得できるよう労働環境を整備しています。

今回の評価における職員ヒアリングからも、「働き方の改善（看護・介護休暇、ICTの活用による事務時間の短縮など）があり、人間関係も良好で相談しやすく、働きやすい職場です」との回答が聞かれました。

3. 地域の保育ニーズに応じた園の運営

吉身保育園では、平成22年4月から指定管理者として「洛和福祉会」が運営を担ってきました。守山駅周辺の子育て人口の増加による待機児童解消や児童数の増加に対応するために、開園して以降も市の保育ニーズに準じた園児の受入れ定員を都度変更したり、平成26年には乳幼児数増加を踏まえて、吉身小学校内に分園を開園しました。このように行政と密な連携を図りながら、地域の保育事情に応じた園運営に努めています。

園には保健担当として常勤の看護師が在籍しており、医療ニーズのある子どもの受け入れや、日々の健康観察、感染症の予防指導においても保護者の信頼を得ています。また、地域の保育ニーズに対応した延長保育や子育て支援への取り組み、支援を必要とする子どもたちの受入れ、近隣の幼保・小・中・高校との連携、地域の社会資源（民生委員・児童委員、主任児童委員との連携、にこにこ広場や親子ふれあいコンサートへの参加、「ハッピーさん」との交流、「さくらんぼ教室」や「ほほえみテレホン」、図書館での育児相談、青空保育等の子育て支援、民間事業所との連携）など、公設民営の保育園として幅広い活動に取り組み、地域住民に認められた保育園になっています。

【分園について】

吉身保育園分園は、0歳～2歳児だけの乳児の思いに寄り添った保育が行われています。育児担当保育を行い、家庭的な雰囲気の中、一人ひとりの気持ちの安定を図り、生活リズムを整えるよう保育しています。小学校の校舎を改装して保育しており、設備や環境面では支障が出ている箇所はありますが、一方、小学校内に保育園がある利点として、小学校には卒園生も多く在籍しており、休み時間には園

児が中庭や校庭でお兄ちゃん、お姉ちゃんたちと関わりが持て、自然に異年齢保育に繋がっています。

○ 改善を求められる点

1. 保護者への情報発信と意見交換について

今回の保護者アンケートの自由記述欄のコメント内において、園の取組みが保護者へ適切に伝わっていないと思われるコメントが複数見られました。具体的には、「保護者からの苦情や意見に対して、園から懇談会、園だよりや個別面談などを通じて説明がありますか」の問いに対して「いいえ・どちらでもない」と回答された方が21名（肯定率63%）、「育児相談など地域の子育て家庭を対象にした子育て支援の取組みが園において行われていますか」との問いには、「いいえ・どちらでもない」と回答された方が16名（肯定率73%）おられます。

園としては送迎時や各種行事、保護者向けアンケート、懇談会、連絡ノート、園だよりなどの文書、メール等々、様々な伝達手段を用いて園の取組みを広報していますが、保護者の皆さまへ届いていない事が推測されます。今後も様々な方法により根気よく継続して、園独自の取組みを保護者や地域に向け発信していくことが必要だと思われます。

2. 園運営に必要な法令等の職員への周知

園の運営や適切な保育を行うために、遵守すべき法令等を理解する研修は、年間研修計画に組み込まれ職員は定期的に受講しています。しかし、園長は県主催の研修や広報誌、法人からのメールなどで必要な法令改正や制度変更の情報を把握していますが、それを職員に対して職員会議などで周知・徹底することを期待します。また、園長自らの役割や責任について、職員や保護者にはある程度周知はされていますが、園だよりや職務分掌表などにより、より具体的な役割を明確にして、職員や保護者への理解に繋げることを望みます。

3. 登降園時の駐車場と事故防止について

今回の第三者評価保護者アンケートで目立った意見として、園への登降園児の駐車場に関するコメントが多数ありました。「悪天候の時には、市役所の駐車場に車を停め園まで歩くことが大変」との趣旨の意見が多かったです。これは分園のアンケートでも同様の意見が見られました。また、近隣道路は車の交通量も多く、登園時には歩道を通る学生の自転車とのすれ違いが危険な場面も見受けられました。更に、園の防犯対策や災害等の安全管理への不安の意見もありました。

駐車場に関しては、園舎の設置場所や環境面で如何ともしがたい点があるのも事実ですが、行政や法人本部とも相談して何らかの対応が望まれます。また、園として「令和5年

度守山市立吉身保育園「安全計画」を作成しており、その中での安全点検や詳細なマニュアル集の整備、児童・保護者への安全指導、訓練・研修等を計画的に行っています。これだけしっかりした安全計画を立て取り組んでいる事や、多数のマニュアルに則って訓練などを行っていることを、園の行事や懇談会等の際に保護者や地域住民に向け説明していくことが必要だと考えます。

【分園について】

吉身保育園分園においては、上記本園の駐車場に関する意見と同様に、登降園児の駐車場からの距離が更に遠くなることもあり、改善を望む意見がありました。また、小学校の校舎を活用しており併設で児童クラブもあることから、玄関から誰でも自由に入出入りすることが可能な状況でした。特に乳児が利用する分園と言うこともあり、より一層の不審者対応や防犯に対する準備、意識づけが必要だと思われまます。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

今回の評価結果で高い評価をいただいた点は、職員の励みにもなり今後も引き続き職員と共に努力してまいりたいと思います。

改善を求められている点につきまして、駐車場の問題に関しては今後検討が必要かと思えます。保育園の立地の問題もあり、思うように解決できにくいことありますが、園児や保護者の皆さまが、安心安全に登降園できる環境を考えていきたいと思えます。

また、保護者からのご意見や苦情なども保護者の方に何らかの形でお伝えしたり、説明をしたりしていきたいと思えます。

保護者の方へ連絡事項やお伝えしたい内容の発信の仕方を今後、もう少しわかりやすく伝えていき、園の運営や活動、行事などをもっとしていただけるよう工夫していきたいと思えます。

今後、保護者への発信方法を検討し保護者や子どもたちが安心して保育園生活ができ、信頼しあえる関係性になるよう努力していきたいと思えます。

分園につきましては、小学校の校舎を活用している関係で、出入りが自由にできてしまい防犯面の意識づけが必要とありましたが、令和6年度は、一旦施設の環境の検討のため守山市との協議の結果、休止となりました。

今後も保護者や保育園を見守ってくださる地域の皆さまのご支援やご協力を頂きながら、安心安全な園づくりに努めていきたいと思えます。